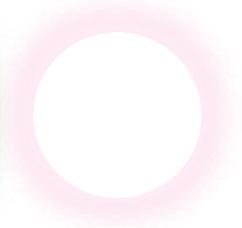
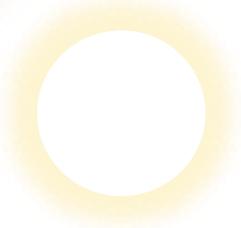
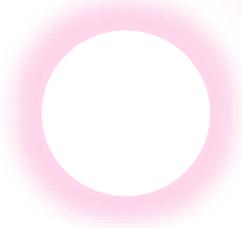
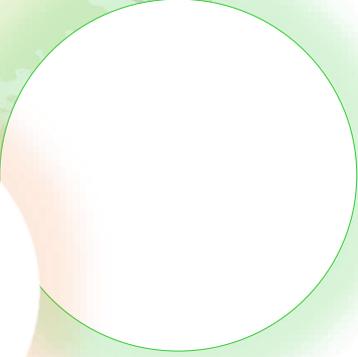


# 自治公民館加入促進検討会

## 【第 3 回】

令和 7 年 8 月 7 日  
地域振興部 地域振興課



# 目次

## 1 前回のふりかえり

- (1) 第2回検討会の意見の整理
- (2) 検討の方向性の確認
- (3) 検討項目（案）
- (4) 「安心して暮らせるまちづくり」の対策（案）
- (5) 「快適に暮らせる環境づくり」の対策（案）

## 2 「誰もが参加しやすい体制づくり」の対策（案）

- (1) 組織・運営体制に関すること
- (2) 地域コミュニティの変化への対応に関すること
- (3) 情報発信・コミュニケーションに関すること
- (4) 多様な主体との連携に関すること
- (5) 参考事例

## 3 今後のスケジュール

参考資料：自治公民館加入促進に関する法的整理

# 1 前回のふりかえり

## (1) 第2回検討会の意見の整理

### ① 自治公民館の在り方に関する意見

- ・自治公民館の単位や規模の再編（合併・分割）についても検討項目に加えるべき。
- ・様々なライフスタイルに合わせた参加形態の多様化も重要課題である。
- ・高齢の役員ではデジタル対応等が難しく、行政のバックアップが必要。
- ・加入者からも意見が言いにくい組織構造も課題である。
- ・若年層の加入促進にはファミリーサポート事業のような具体的なメリットの提示が有効と考えている。
- ・移住支援金を支給する際に、自治公民館に加入することを条件として加えると、自治公民館の加入に繋がるのではないか。
- ・役員組織のスリム化（過去からの組織を棚卸し）、負担の軽減化、デジタル化による業務簡素化（LINE活用等）、会議時間の短縮、運営内容の明確化、会計の透明化（Excel等による一元管理）、経費削減、利便性向上（独居老人見守りシステム等）を行ってはどうか。

# 1 前回のふりかえり

## (1) 第2回検討会の意見の整理

### ② 防災・減災対策に関する意見

- ・ 防災・減災における自治公民館の役割を「安心して暮らせるまちづくり」の項目に具体的に追加する必要がある。
- ・ 単に「防災・減災における公民館の役割」という抽象的な表現ではなく、自主防災組織の活性化や地区防災計画の策定支援など、具体的な取組を項目として設定すべき。
- ・ 災害の定義を広げる視点も重要である。

### ③ ごみステーション問題に関する意見

- ・ ごみステーションの維持管理に関する項目を「快適に暮らせる環境づくり」の検討項目に追加すべき。

### ④ ウェルビーイングの視点

- ・ ウェルビーイングの概念は、三つの柱全体を包む共通コンセプトとして位置づけるべき。
- ・ 特に「社会の健康」という視点は、自治公民館の存在意義を再定義する上で重要。
- ・ ダイバーシティ（多様性）だけでなく、エクイティ（公平性）、アクセシビリティ（利用しやすさ）、インクルージョン（包摂）、ビロッキング（所属感・心地よさ）の視点も重要である。

# 1 前回のふりかえり

## (2) 検討の方向性の確認



# 1 前回のふりかえり

## (3) 検討項目（体系別の分類）

### 1 誰もが参加しやすい体制づくり

- ・若い世代の参加しやすい柔軟で効率的な組織運営について
- ・子どもを中心とした活動について
- ・未加入者（転入者等）への自治公民館活動の**情報発信**について
- ・役員の負担軽減、適切な行政協力業務について
- ・会計や意思決定の透明化について
- ・**地域組織の再編・連携**
- ・**デジタル化による業務効率化**

### 2 安心して暮らせるまちづくり

- ・防災・減災（**自主防災組織、地区防災計画等**）における自治公民館の役割について
- ・広い意味での災害（**熱中症、感染症等**）における自治公民館の役割について
- ・防犯（見守り活動、防犯灯等）における自治公民館の役割について
- ・支えあえる地域のつながりの形成について

### 3 快適に暮らせる環境づくり

- ・ごみステーションの整備
- ・環境美化活動について
- ・**ごみステーションの維持管理**

# 1 前回のふりかえり

## (4) 「安心して暮らせるまちづくり」の対策（案）

### ① 防災・減災に関すること

現状課題 検討会で出された意見等	対策（案）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 防災・減災における自治公民館・地域住民の役割の明確化</li><li>・ 自主防災組織の形骸化</li><li>・ 災害時の地域コミュニティの重要性の認識不足</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 自主防災組織の活性化と地区防災計画策定推進</li><li>② 自治公民館を中心とした防災体制の強化（防災訓練の普及促進等）</li></ul>

対応策 （案）	今後の取組（施策）	
	短期	中長期
①	【自治公民館・まち協・行政】 地区防災計画の策定	【自治公民館・まち協】 地区防災計画の活用（自主防災組織の活性化）
②	【自治公民館・まち協・行政】 防災訓練の研修	【自治公民館・まち協・自公連】 防災訓練の実施、防災・減災における地域コミュニティの重要性の共有

# 1 前回のふりかえり

## (5) 「快適に暮らせる環境づくり」の対策（案）

### ① 環境・ごみステーション問題に関すること

現状課題 検討会で出された意見等		対策（案）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「加入していないとごみを捨てさせない」という対応への人権侵害の懸念</li> <li>・自治公民館未加入者も利用するごみステーションの維持管理の負担</li> <li>・不適正ごみの処理、草刈り等の負担が自治公民館役員に集中</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①ごみステーション維持管理の新たな仕組みづくり</li> <li>②鍵付きごみステーションの活用検討</li> <li>③統一的な管理料徴収制度導入の検討</li> </ul>	
対応策 （案）	今後の取組（施策）		
	短期	中長期	
①	【自公連・自治公民館・行政】 ごみステーションの維持管理体制の検討	【自治公民館・行政】 新たな維持管理体制の運用	
②	【自公連・自治公民館・行政】 ごみステーションの維持管理体制の検討	【自治公民館】鍵付きごみステーションの活用検討	【自治公民館】 モデル地区での試行 【自治公民館】 本格運用
③	【自公連・自治公民館・行政】 ごみステーションの維持管理体制の検討	【自公連・自治公民館】 管理料徴収制度の検討	【自治公民館】 管理料徴収制度の導入・維持管理に反映

## 2 「誰もが参加しやすい体制づくり」の対策（案）

### （1）組織・運営体制に関すること

現状課題 検討会で出された意見等	対策（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館の閉鎖的体質</li> <li>・役員の高齢化と負担集中及びなり手不足</li> <li>・会計の不透明さ</li> <li>・自治公民館規模の不適正</li> <li>・「やらされ型」から「魅力と納得型」への転換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織・体制の見直しと自治公民館の適正規模化(合併・分割)</li> <li>②自治公民館の常時開放の仕組みの構築</li> <li>③役員の負担軽減（業務分散化・効率化、外部委託）</li> <li>④会計のデジタル化による透明性確保</li> </ul>

対応策 （案）	今後の取組（施策）	
	短期	中長期
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自公連・自治公民館】自治公民館組織・体制の見直し</li> <li>【自公連・行政】自治公民館組織・体制見直しの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自公連・自治公民館】自治公民館規模の適性化</li> <li>【自公連・行政】自治公民館規模適性化の支援</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治公民館】常時開放の仕組みの構築</li> </ul>	
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治公民館】役員業務の分散化・効率化、外部委託等の検討</li> <li>【行政】自治公民館への依頼事項の見直し</li> </ul>	
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治公民館】デジタル技術を活用した会計の透明性確保</li> <li>【行政】デジタル化支援(デジタル技術を活用した会計システムの研修)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治公民館】会計システムの運用</li> </ul>

## 2 「誰もが参加しやすい体制づくり」の対策（案）

### （2）地域コミュニティの変化への対応に関すること

現状課題 検討会で出された意見等	対策（案）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 共働き世帯増加によるライフスタイルの変化</li><li>・ 若い世代・子育て世代の加入率低下</li><li>・ 独居高齢者の増加</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>① ライフスタイルに合わせた活動時間帯の見直し</li><li>② 参加形態の多様化（準会員・会費減免制度等）</li><li>③ 独居高齢者見守りシステム</li></ol>

対応策 （案）	今後の取組（施策）	
	短期	中長期
①	【自治公民館】活動時間帯の見直し	
②	【自治公民館】準会員・会費減免制度等導入の検討	【自治公民館】準会員・会費減免制度等の導入
③	【自治公民館】独居高齢者見守りシステムの検討	【自治公民館】見守りシステムの導入・運用

## 2 「誰もが参加しやすい体制づくり」の対策（案）

### （3）情報発信・コミュニケーションに関すること

現状課題 検討会で出された意見等	対策（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入メリットの不明確さ</li> <li>・未加入者、転入者への情報伝達手段欠如</li> <li>・加入者への情報発信不足</li> <li>・デジタル技術の活用不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自治公民館の重要性の情報発信（SNS・LINEの活用強化）</li> <li>②防災・減災情報の共有化</li> </ul>

対応策 （案）	今後の取組（施策）	
	短期	中長期
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治公民館・行政】情報発信内容の検討・作成</li> <li>【行政】デジタル化支援（SNSの新設、LINE活用支援、スマホ教室等の高齢者活用支援）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治公民館・行政】SNS等を活用した情報の発信</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治公民館】地域の防災・減災情報の発信、地区住民への共有化</li> </ul>	

## 2 「誰もが参加しやすい体制づくり」の対策（案）

### （４）多様な主体との連携に関すること

現状課題 検討会で出された意見等	対策（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生活形態への対応</li> <li>・地域団体（PTA、育成会等）の加入率低下</li> <li>・行政、学校と自治公民館の連携不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自治公民館と地域団体（NPO、福祉施設、企業、不動産業者、学校等）の連携強化</li> <li>②企業や団体の賛助会員としての参加促進</li> <li>③多世代交流イベントの実施</li> </ul>

対応策 （案）	今後の取組（施策）	
	短期	中長期
①	<p>【自治公民館・まち協】地域団体（NPO、福祉施設、企業、不動産業者、学校等）との連携強化策の検討</p> <p>【行政】地域団体（NPO、福祉施設、企業、不動産業者、学校等）とのマッチング</p>	<p>【自治公民館・まち協】連携強化策の実施</p>
②	<p>【自公連・自治公民館】企業、団体の参加促進の検討</p>	<p>【自公連・自治公民館】参加促進策の実施</p>
③	<p>【自公連・まち協】多世代交流イベントの実施</p>	

## 2 「誰もが参加しやすい体制づくり」の対策（案）

### （5）参考事例

#### 「ある日IT企業社長が自治会会長になったときにやった10のこと」

※<https://dev.classmethod.jp/articles/10-actions-community-chair/>



#### 1. 全役員にGoogleアカウントを取得

- ・全員がメールを確実に受信できる環境を整備
- ・ Googleドライブでの文書共有を可能に
- ・無料で使えるGmailとGoogle Workspaceツールを活用

#### 2. 会議時間を1時間に短縮

- ・従来2～3時間かかっていた役員会を1時間に
- ・事前にメールやドライブで情報共有を徹底
- ・非同期コミュニケーションの促進

#### 3. ホームページの刷新（Googleサイト活用）

- ・リアルタイムな情報共有のためにホームページを再構築
- ・引継ぎやコスト面を考慮してGoogleサイトを採用
- ・QRコードを会報誌に掲載し、デジタルアクセスを促進

#### 4. 行政との連携をデジタル化

- ・紙ベースの行政連絡をデジタル化
- ・データでの情報提供を依頼し、ホームページ掲載へ

#### 5. 時代に合わせたイベントの見直し

- ・不要なイベントの廃止を推進
- ・少子高齢化に対応したイベント構成へ
- ・防災、防犯、交流を重要テーマとして設定
- ・独居老人など地域課題に対応したイベントを重視

#### 6. 若い世代の参加促進

- ・若年層が参加しやすい仕組みづくりを検討
- ・負担感を減らしながらベネフィット（利益や恩恵）を感じられる工夫

## 2 「誰もが参加しやすい体制づくり」の対策（案）

### （5）参考事例

#### 7. 情報の透明化による役員負担軽減

- ・ホームページでの情報公開で透明性を確保
- ・住民からの相談や進捗状況を可視化
- ・役員間のデータ共有でコミュニケーションを効率化
- ・住民の不安解消につながる情報共有の実現

#### 8. 防災対策としてLINE公式アカウントを検討

- ・プッシュ型通知のためのLINE公式アカウント取得
- ・防災・防犯を地域の最重要課題と位置づけ

#### 9. 会費徴収のキャッシュレス化を検討

- ・現金手渡し方式の非効率性を認識
- ・PayPayなどの決済サービス導入を検討

#### 10. 生成AI活用を開始

- ・議事録作成やチラシの文字起こしにAIを活用
- ・役員がAIを日常的に使いこなせる環境づくりを目指す

### 成果と学び

- ・紙中心からデータ中心への移行により、事務負担の軽減も図られる
- ・情報の共有化により、役員同士が同じデータを見ることができ、進捗状況の確認や透明性の確保もできるようになる
- ・時間短縮により本来の地域課題に注力できるようになる
- ・地域に埋もれた優秀な人材（仕事を引退されても即戦力な人材）の発見が大事

### 3 今後のスケジュール

日 程 (案)	内 容	場 所
8月7日 (木) 14:00~16:00	第3回検討会	未来創造ステーション
10月8日 (水) 14:00~16:00	第4回検討会	未来創造ステーション
11月下旬 (※変更)	第5回検討会	未定
R8.1月上旬 (※変更)	第6回検討会	未定
2月中旬 (※変更)	第7回検討会	未定
3月下旬 (※追加)	第8回検討会	未定
4月下旬 (※追加)	市長への報告	市役所4階秘書広報課前会議室

## 【参考資料】

### 自治公民館加入促進に関する法的整理

#### ①強制加入に関する法的解釈の整理

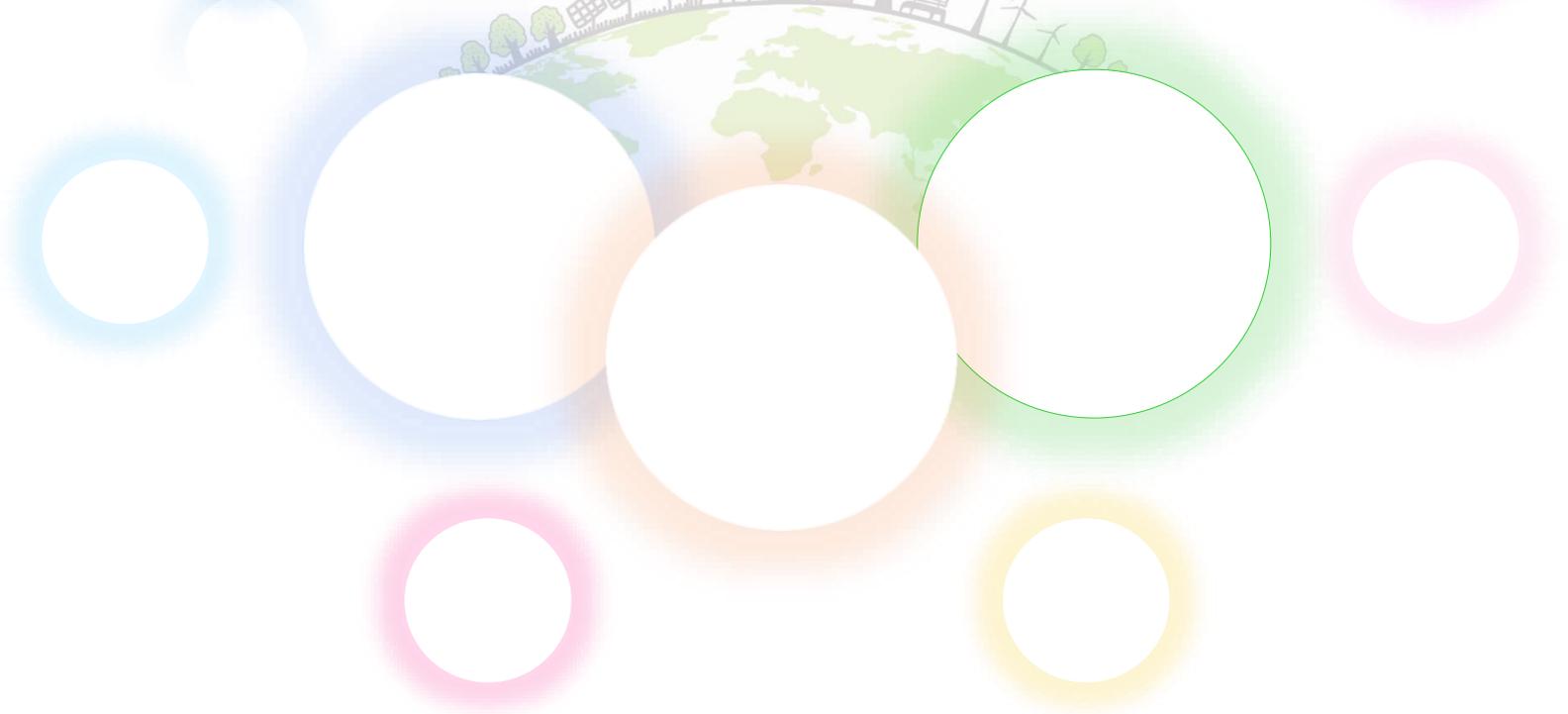
判 例	概 要
最高裁判所判例 事件名 自治会費等請求事件 裁判年月日 平成17年4月26日 ※最高裁判所サイト から抜粋	<p>【判示事項】 権利能力のない社団である県営住宅の自治会の会員がいつでも当該自治会に対する一方的意思表示により退会することができることとされた事例</p> <p>【裁判要旨】 県営住宅の入居者によって構成され、権利能力のない社団である自治会の会員は、当該自治会が、会員相互の親ぼくを図ること、快適な環境の維持管理及び共同の利害に対処すること、会員相互の福祉・助け合いを行うことを目的として設立されたものであり、いわゆる強制加入団体でもなく、その規約において会員の退会を制限する規定を設けていないという事情の下においては、いつでも当該自治会に対する一方的意思表示により退会することができる。</p> <p>【参照法条】 民法33条、民法37条</p>

## 【参考資料】

### 自治公民館加入促進に関する法的整理

#### ②強制加入に関する法的解釈の整理

判 例	概 要
福岡高裁 平成26年2月18日判決 ※弁護士法人相模原法律事務所サイトから抜粋	【判例概要】 自治会への加入が強制されないことを知りながら、自治会への加入を強制し、自治会費の支払いを請求したということで、精神的苦痛を被ったと判断し、不法行為責任を認定、慰謝料の額は5万円と判断された。



新 城

幸せ上々、みやこのじょう

日よりの光と笑顔、とっておきの自然と伝統